

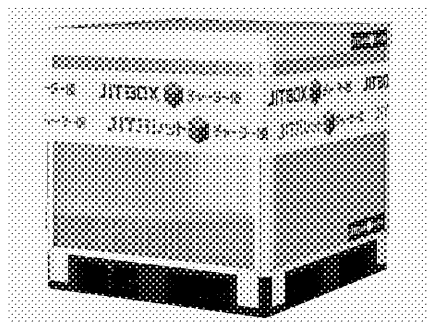
保管ボックス 物流拡販

エーディエフ、トラック対応

エーディエフ（大阪府市西淀川区、島本敏社長）は、保管ボックス「ダンカーゴ」の販売をトラックでの運送など物流向けにも拡大する。大手運送会社が共同出資するボックスチャーター（東京都千代田区）での採用が決まったほか、大手通販会社などからも引き合いがあるという。物流向け販売が大きく伸びることで、2025年1月期見通しの売上高4億5000万円を5年後に3倍に引き上げる計画だ。

ダンカーゴは物流パレットを使った段積み可能なボックスで、これまで倉庫での保管目的などを中心に展開してきた。ただ最近では2024年問題などで積載効率を高めるニーズからトラック運用などでも販売が広がっている。

ボックスチャータート運輸など加盟会社23社が11月11日から順次開始する、小ロットの荷物を共同輸送するサービス「JITパレットチャーター」で使用する。ダンカーゴは04年に発売。メーカーの保管用がメインだったが、現場での組み立てを簡単にした製品を中心に物流業界での採用が広がりを始めた。エーディエフは共同開発品をボックスチャーター以外にも販売し、物流業界への拡販に弾みを付ける考えだ。



共同開発したダンカーゴは運送業界で代表的な4.5tウイング車での使用に最適化。従来品よりも外形をスリム化したこと